

令和8年度 山形市立第八中学校 学校経営基本構想

1 学校教育目標

創造・貢献・自立 ～ 地域と繋がり、新しい時代を拓く、たくましい生徒を育てる学校 ～

- 【 目指す生徒像 】
- | | |
|---------|----------------------|
| 「 創 造 」 | 自ら学び、考え、表現できる生徒 |
| 「 貢 献 」 | 自他のいのちを敬い、地域に貢献できる生徒 |
| 「 自 立 」 | 向上心にあふれ、主体的に行動できる生徒 |

2 学校経営基本方針

学校教育目標の達成に向け、次の5つの基本方針を設ける。

- (1) 付けたい非認知能力を明確にした上で、全ての教育活動を実施し、評価をする。
- (2) 小規模校の強みを生かした組織マネジメントの工夫と、特色のある教育活動を展開する。
- (3) 地域と学校が連携・協働する活動を取り入れ、社会に開かれた教育課程を実現する。
- (4) 働き方改革を推進し、校内外での研修を充実させ、教職員の資質向上を図る。
- (5) 教育相談や特別支援教育の充実を図り、安心・安全で信頼される学校づくりを行う。

3 学校経営の重点

(1) 「 創 造 」 ～ 自ら学び、考え、表現できる生徒 ～

- ① 「見通しがもてる、十分活動できる、振り返りで学びを見つめられる」の3つの視点を取り入れた学習サイクルを積み重ね、基本的な学びスタイルを身に付けられるようにする。
- ② 「考えたことを書く、描く、形・動きに表す、話す。」また「表現されたことから考える、思う、感じる」という活動を意図的に教育活動に盛り込むようにする。
- ③ 放課後の時間を活用した主体的な学びの場を設定し、生徒が知識や技能を用い、課題や目標に取り組むことのできる体制づくりを行う。

(2) 「 貢 献 」 ～ 自他のいのちを敬い、地域に貢献できる生徒 ～

- ① 自分を大切にし、さらに向上しようと努力する気持ちや、相手のことを思いやり、考えて行動しようとする気持ちを育て、個の伸長と学級集団の質の向上を図る。
- ② 日常における清掃活動、ボランティア活動の意義について深く理解を促し、多様な体験と発信を通して、自ら人のために貢献しようとする気持ちを育てる。
- ③ 地域社会との積極的な交流を通して、郷土の歴史と文化に誇りを持ち、郷土を愛する気持ちを育てる。

(3) 「 自 立 」 ～ 向上心にあふれ、主体的に行動できる生徒 ～

- ① 生徒会活動や学校行事、部活動において、生徒の主体性と向上心を引き出す指導を通して、目標に向かい立ち向かおうとする気持ちを育てる。
- ② 総合的な学習の時間等の活動で、自分で設定した課題を調べ、まとめ、発表する経験を通して、将来の変化の激しい社会に役立つ非認知能力を高めるように努める。
- ③ フォーサイト手帳の効果的な活用を促すことにより、生活と学習のセルフマネジメント力を向上させるとともに、実行力と継続力を身に付けさせるよう努める。